

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2009-541750(P2009-541750A)

【公表日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2009-516882(P2009-516882)

【国際特許分類】

G 01 M 11/00 (2006.01)

【F I】

G 01 M 11/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月16日(2011.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光導体(10)と検出装置(25)とを備える構成体であって、

・前記光導体(10)はコア領域(10E)と、該コア領域(10E)を包囲するカバー領域(10C)とを含み、

前記コア領域は、前記カバー領域よりも大きな屈折率を有し、

・前記検出装置(25)は、前記光導体(10)の損傷を検出することができ、

・前記光導体(10)は第1の端部(10A)と第2の端部(10B)を有し、

前記第2の端部(10B)には変換物質(15)が設けられており、

該変換物質は、前記光導体(10)を通って搬送された第1波長のビーム(11)を、
第2波長の光(20)に変換し、

前記第1の端部(10A)には第1の検知器が前記検出装置の構成部分として設けられており、該第1の検知器は前記第2波長の光を検出する構成体。

【請求項2】

請求項1記載の構成体であって、

・第1の導電接続部(25A)が前記検出装置の構成部分として設けられており、前記第1の導電接続部は前記カバー領域(10C)内に、または当該カバー領域上に延在し、

前記第1の導電接続部の機能性は、光導体の機能性を指示する構成体。

【請求項3】

請求項1または2記載の構成体であって、

・前記光導体(10)は主軸を有し、

・前記第1の導電接続部(25A)は、前記光導体(10)の主軸に沿って延在する構成体。

【請求項4】

請求項2または3記載の構成体であって、

・前記第1の導電接続部(25A)は、前記コア領域(10E)よりも脆性である構成体。

【請求項5】

請求項2から4までのいずれか一項記載の構成体であって、

・付加的に第2の導電接続部(25B)が設けられており、該第2の導電接続部は前記光

導体(10)内に、または光導体上に延在する構成体。

【請求項6】

- 請求項1から5までのいずれか一項記載の構成体であって、
・前記第2の導電接続部(25B)は前記第1の導電接続部(25A)と共に電流回路を形成し、
・前記第1の導電接続部の機能性を検査するための手段(25C)が設けられており、該手段は電流回路を流れる電流を検出することができる構成体。

【請求項7】

- 請求項5記載の構成体であって、
・前記第2の導電接続部(25B)は、前記第1の導電接続部(25A)に対して間隔をおいて延在し、
・前記第1の導電接続部の機能性を検査するための手段(25C)が設けられており、該手段は第1の導電接続部と第2の導電接続部との間に印加される電圧を検出することができる構成体。

【請求項8】

- 請求項1から7までのいずれか一項記載の構成体であって、
・前記第2の端部(10B)には、前記変換物質(15)と前記光導体(10)との間で反射層が取り付けられており、
該反射層は、第1波長のビーム(11)に対しては透明であり、第2波長の光(20)の一部を反射する構成体。

【請求項9】

- 発光装置(1)として構成された、請求項1から8までのいずれか一項記載の構成体であって、
・付加的にビーム源(5)が前記光導体(10)の第1の端部(10A)に設けられており、前記ビーム源は第1波長のビーム(11)を放射する構成体。

【請求項10】

- 請求項1から9までのいずれか一項記載の構成体であって、
・前記ビーム源は短波長ビーム源を含む構成体。

【請求項11】

- 請求項1から10までのいずれか一項記載の構成体であって、
・前記光導体(10)はファイバを含み、該ファイバはガラスおよびプラスチックから選択される物質を含有する構成体。

【請求項12】

- 請求項1から11までのいずれか一項記載の構成体であって、
・前記光導体(10)の第1の端部(10A)には、第1波長のビーム(11)を放射するビーム源が設けられており、
該第2の端部(10B)には光学構成部材(30)が設けられており、
該光学構成部材は、変換された光(20)と、または光導体から出射したビーム(11)と交互作用する構成体。

【請求項13】

- 請求項1から12までのいずれか一項記載の構成体であって、
・前記光導体(10)の端部(10B)は透明体(35)と導光的に結合されている構成体。